

【NEWS RELEASE】

2023年4月11日

各 位

 株式会社三井住友フィナンシャルグループ
 株式会社三井住友銀行

Soulbound Token (SBT) を用いた社内コミュニティ形成に関する実証実験の実施について

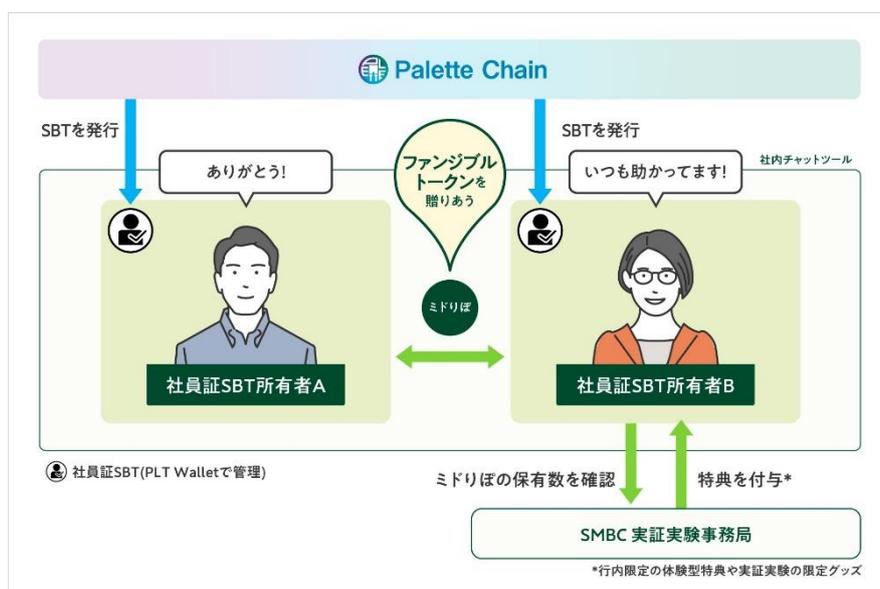
株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：太田 純、以下、グループを総称して「SMBC グループ」）、および連結子会社である株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：福留 朗裕）は、株式会社 HashPort（代表取締役 CEO：吉田 世博、以下、グループを総称して「HashPort グループ」）と共同で、移転不可能な NFT であるソウルバウンドトークン（以下 SBT）*1 を用いた SMBC グループの社内コミュニティ形成に関する実証実験を実施いたします。

SMBC グループは、2022年12月8日に HashPort グループとの SBT 領域における業務提携の検討を公表以降、実証実験の第1フェーズに向けて準備を進めてまいりました。本実証実験を通じ、SBT の発行・保有に係る技術的事項の検証と SBT を起点とするコミュニティ形成に関するノウハウの蓄積を行ってまいります。

実験の第1フェーズ完了後は、本実験にて培った知見に基づき、他の企業の参加も得る形でさらなる実験に取り組んでいく方針です。一連の実験を通じて、SBT の特性を活かした新たな付加価値の提供に向け両社で検討を進めてまいります。

【実証実験第1フェーズ概要】

- ・実験に参加する SMBC グループの従業員宛に、HashPort グループの提供するブロックチェーン、Palette Chain 上で、社員であることを証明する SBT と、実験参加者の間で流通する“ミドリぼ”と呼称するファンジブルトークン (FT) *2 を配布。
- ・実験参加者は、SMBC グループの社内チャットツール内で形成されるコミュニティに参加。コミュニティ内では、テーマ別にトークルームを形成し、コミュニティに貢献する発言・行動をしたメンバーに感謝の証としてミドリぼを送付できるようにする。実験終了時にミドリぼを一定数以上保有していた参加者には、特典を付与する予定。



(*1) ソウルバウンドトークン (SBT)

移転不可能な NFT。その特性を活かし、SBT のウォレットを保有する個人の経歴や行動履歴を表すトークンとして発行される。様々な SBT が保管されることになる ウォレットは、そのウォレットの持ち主の姿を示すものとなることから“ソウル”と呼ばれる。

(*2) ファンジブルトークン (FT)

代替可能なトークン。同じ価値を持つほかのトークンと交換可能。

以 上